

【解答例】

問 1:(配点 15 点)

渡月橋では観光者が集中する時間帯の分散化が必要である。鎌倉高校前では 2 地点間の来訪ピークが異なるためその実態や原因を把握する必要がある。そのためには観光入込客指数のオープンデータ化を通じた現場利用も必要だ。また、地域住民の生活環境にどの程度、影響や不満を与えるかを把握する必要もある。観光地の人口規模が大きいほどオーバーツーリズムが顕在化しにくい問題性がある。観光をマネジメントする上で観光者の旅行行動の分析も重要である。観光は非日常的かつ低頻度であるため、旅行者が観光先を選択する際、不完全な情報下で主観的な意思決定をしてしまう問題があると筆者は指摘する。(279 字)

問 2:(配点:25 点)

筆者は解決策として、以下の三点を提示している。第一に、入域料徴収等の「訪問に伴うデメリット付加」による経済的手段の導入である。第二に、ルールに基づく入域者数の上限設定や地域特性に応じた制限の設定である。第三に、「観光効用を高める選択肢や特徴」を提示し認知させる効果的な情報提供(SNS 等の口コミ活用)である。これらは観光者の行動変容を促す可能性がある。観光需要の平準化やオーバーツーリズム対策は多様であり、地域特性に応じた PDCA サイクルによる検証が不可欠である。政策・事業の実施者が地域マネジメントを実感し、地域の「あるべき姿」を見据えたエビデンスに基づく成果検討が望ましい。(283 文字)